

明日へ飛躍する企業をサポート

# JUMP

ひょうご産業  
活性化センター  
通信

2024

1

Jan



## CONTENTS

- 02 新春メッセージ
- 03 年頭所感
- 06 ひょうごビジネス・インフォメーション
- 08 がんばる企業を応援
- 09 成長期待企業のイチオシ!
- 10 信用保証協会 NEWS
- 11 TAX & LAW



元気企業訪問

(株)北星社

海外展開支援助成金を活用して

中小企業のための  
ひょうご産業SDGs推進宣言事業・認証事業

ひょうご産業活性化センターは中小企業のSDGsの取り組みを支援しています。





兵庫県知事

齋藤元彦

## 兵庫の新たなステージへ

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、社会経済活動が正常化しました。その一方で、物価高騰や円安は依然として私たちの暮らしに影響を及ぼしています。

こうしたなかでも、阪神タイガース、オリックス・バファローズ、ヴィッセル神戸の活躍は、私達に感動を与え、地域に元気をもたらしてくれました。

選手達のはつらつとしたプレーのように、令和6年の県政も、だれもが夢や希望を持って挑戦できる社会をめざし、「攻めの県政」を展開する一年にしたいと思います。

まずは、若者・Z世代への支援です。

兵庫県立大学・大学院の無償化や奨学金返済支援の拡充など、結婚・出産のハードルにもなっている教育費の負担を軽減します。また、海外への留学等を支援し、国際視野を得る機会を広げます。不妊治療支援や若い世代に向けた住宅支援の充実など、兵庫で子どもを生み、育てたいという希望を叶える環境づくりも進めます。

高齢者の安全安心な暮らしを守ります。

特殊詐欺被害が過去最悪のペースで増加するなか、被害者の8割を占める高齢者を被害から守るため、全国一の規模で集中的に対策を強化しま

す。自転車ヘルメットの購入支援を行い、高齢者に多い自転車死亡事故の減少につなげます。また、ソフト・ハード両面からユニバーサルツーリズムを進め、年齢や障害の有無に関わらず安心して旅行ができる社会を実現します。

地域のポテンシャルを活かし、兵庫の持続的発展につなげます。

人と環境にやさしい農業、革新に挑む地場産業、地域に根付く芸術文化など、兵庫各地の人々の営みには、世界が持続可能な発展を遂げるための多くのヒントがあります。大阪・関西万博を機に、こうした現場に国内外の人々を誘う「ひょうごフィールドパビリオン」の取組を加速します。また、脱炭素社会実現の鍵となる水素エネルギーの活用や、有機農業の拡大に向けた担い手育成など、持続的な成長を支える取組を先導します。

県政推進にあたり、現場主義の徹底と対話重視の姿勢に変わりはありません。これまで以上に、現場に足を運び、地域の皆様との対話から出てくる課題やニーズを積極的に施策に反映していきます。

兵庫の新たなステージに向け、果敢に取り組んでまいりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様には、ひょうご産業活性化センターの事業推進にあたり、平素より格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、私たちを取り巻く環境は依然として厳しいものがあります。多くの中小企業が資源・原材料価格高騰の影響を受け、価格への転嫁に苦慮するなか、地域産業の成長力を削ぐ人口減少という構造的な問題にも直面し、今後の情勢は極めて不透明です。経営者の皆様においては、現状を耐えて情勢の改善を待つ姿勢が見受けられる一方、困難な局面をチャンスに変えようと新しいビジネスの展開を模索する動きも少なくありません。

ひょうご産業活性化センターの使命は、そのような挑戦する経営者の応援団として、異なる視点から「気づき」の機会を提供し、さらなる高みを目指して共に取り組むことです。そのために、関係機関と連携し、国・県の支援策を実行することが我々に求められる役割です。

そのような認識のもと、次の課題に特に意を用いて取組を進めます。

### SDGsへの取組支援

SDGsは国連サミットで採択された2030年を期限とする国際社会全体の開発目標です。経済・社会・環境をめぐる様々な課題に対し、企業をはじめ全ての関係者の取組が求められています。

その考えを経営に組み込み、本業を含めた取組を通じて社会課題の解決を図ることは、企業の価値向上や競争力の強化につながると考えられます。また、若年層ほどSDGsに対する関心が高く、雇用確保の観点からも重要です。

SDGsの目標達成に向けて取り組む経営者に対して、「よろず支援拠点」を窓口とした相談をはじめ、現場視点でサポートしてまいります。

### 起業・創業機運の更なる醸成

拠点施設「起業プラザひょうご」はSMBC神戸本部ビルに移転して4年目になります。起業家のステップアップにつながる情報提供や相談の実施、ワーキングスペースの提供など、フェーズに応じた支援を行ってまいりました。引き続き、“ひょうご神戸スタートアップ・エコシステム”の支援機関と連携し、個別のマッチングやピッチイベントに取り組むとともに、スタートアップの協業先となる県内企業とのリレーション構築にも努めます。

### 海外展開支援

アジアをはじめ新興国の成長は著しく、人々の生活水準も向上を続ける一方、我が国においては、国内需要の減少等の課題に直面していることから、新たな市場を求めて海外に活路を見出す経営者もおられます。こうした企業の海外展開を支援するため、ジェット口神戸、神戸市海外ビジネスセンターと一体となった「ひょうご・神戸国際ビジネススクエア」を形成し、相談対応にワンストップで取り組むとともに、セミナーなどを通じて最新情報を発信します。

経営者の皆様には以上のようなサポートをはじめ各種の支援メニューをご活用いただくことを、また、関係機関の皆様には引き続きお力添えを賜りますよう、お願ひ申し上げます。

本年が皆様にとって、希望にあふれ、着実に歩みを進める年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

公益財団法人 ひょうご産業活性化センター  
理事長 谷口 賢行



(株)北星社  
豊岡市



北星社ベトナムト  
レーディング社長  
門間 丈晃

海外展開支援助成金を  
活用して

- 市場調査が海外進出の後押しになった
- 海外進出に関する情報や助言を得られた
- コロナ禍後の新事業も見つかった



ホーチミンの日系スーパーで「播州乾麺フェア」を開催

## 地域産品輸出と高度人材受け入れ ベトナムで新事業を育てる

### 新たな活路を海外市場に見いだす

1953年にカレンダーの印刷で創業して以来、同社は但馬地域の印刷物需要に応え、70年代には写真スタジオも構えました。現在は編集者、カメラマン、デザイナーと50人のクリエイターをそろえ、書籍やデジタルコンテンツなどあらゆる制作物の企画立案から印刷までワンストップで手がけています。

一方、主力の印刷業の需要は減少しつつあるため、2017年から新事業の探索に注力してきました。その一つが海外市場の開拓です。プロジェクトを任された門間丈晃さんが着目したのは経済成長著しいベトナムでした。現地で情報収集するうち、和牛レストランや日本語学校を経営する人と出会い、日本酒をはじめとする県内産品の輸出、ベトナムの高度人材と但馬地域の企業とのマッチングという二つの事業プランが固まったと言います。

ちょうどその頃、取引銀行を通してひょうご産業活性化センターの海外展開支援助成金を知り、これを活用。二つの事業を育てるべく、現地調査を実施。19年10月に100%出資の子会社「北星社ベトナムトレーディング」

を設立し、門間さんが社長に就任します。

### コロナ明け三つ目の事業にも挑む

県内産品の貿易事業の準備を進めようとしていた矢先にコロナ禍が直撃し、ベトナム赴任中の門間さんは身動きが取れなくなりました。そこで現地でもできる高度人材のマッチング事業に注力。ホーチミン工科大学などのパイプをつくり、豊岡市内に生産拠点を置くメーカーとマッチングさせ急場をしのぎました。高度人材を求める日本企業のニーズは強く、これまで2社に対し約30人を紹介しています。

同社では海外事業と並行して、2019年に東京にあるアクリル印刷の会社をM&Aし、キャラクターを印刷したアクリルキーホルダー製作を新事業として育てつつあります。コロナ収束後はひょうご産業活性化センターのポストコロナ海外新展開支援助成金を活用し、ベトナムでもキャラクタービジネスの展開を視野に入れて現地企業の調査に当たりました。

現在は、その調査の過程で見つけたメーカーとの契約を検討しています。「現地ではキャラクタービジネスが未成熟で、観光地やテーマパークなどで販売されている

### 制度利用の流れ

2022年4月

ひょうご海外ビジネスセンターに助成金を申請

6月

審査を通過し採択される

7月、11月

生産委託先調査および市場調査

23年2月

助成金報告書を提出

※ポストコロナ海外新展開支援助成金を利用した時のものです



現地の日本食卸業者に香美町の清酒「香住鶴」をプレゼン



現地大学生と日本企業とのオンライン面接会

商材が少ないです。そこにビジネスチャンスを見いだせないかと考えています」と門間さん。

今後は、コロナ禍で中断を余儀なくされた地域産品の輸出、そして高度人材マッチング、キャラクタービジネスの3事業をベトナムで育てていきます。

### 株北星社

豊岡市上佐野1620 T 0796-22-4141

●代表取締役 / 早川薫

●事業内容 / 企画、デザイン、編集、印刷

H <https://www.robo.co.jp>

## 海外展開支援助成金

県内中小企業等の海外渡航や越境ECなどを伴う海外ビジネス展開への取り組みに対し、費用の一部を助成します。

**【対象者】** 県内の中小企業など

**【対象事業】** 海外見本市出展や現地商談等による販路拡大、営業拠点や製造拠点、生産委託先等に係る現地調査、ポストコロナ海外新展開に係る現地調査、越境ECモール出店や越境ECサイト開設による販路開拓

**【助成率】** 対象経費の1/2以内

**【助成額】** 上限100万円(越境ECは同50万円)

### 利用メリット

- 国、県、市が一体となるワンストップ支援窓口として、助成事業に対しきめ細やかにアドバイスし、その効果的な実施をサポートします
- 現地情報の収集等において、世界8カ国11カ所に設置する「ひょうご国際ビジネスサポートデスク」や兵庫県が設置する海外事務所も活用できます

問 ひょうご海外ビジネスセンター

T 078-271-8402

制度の詳細についてはホームページをご覧ください



だけ

# あなたの本を

## 「オーダーメイド」

<https://kobe-selfpub.jp>  
 KOBE 自費出版 web  
 こちらから



### 自費出版

見積り無料

まずは電話かメールでお問合せください

TEL. 078-362-7140

✉ [jihishuppan-kpc@kobe-np.co.jp](mailto:jihishuppan-kpc@kobe-np.co.jp)

**神戸新聞総合出版センター**

株式会社 神戸新聞総合印刷

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-5-7



# ひょうご ビジネス・ インフォメーション

☐日時 ☐場所 ☐対象 ☐定員 ☐料金  
☐申し込み先・方法 ☐問い合わせ先  
☐電話番号 ☐ファクス番号 ☐Eメール

## ひょうご産業活性化センター

### 「異業種交流10年間の歩みと 今後の発展に向けて」参加者募集

2014(平成26)年度にスタートし今年度で終了する「異業種交流活性化支援事業」の10年間の総括するイベント。累計271の異業種交流グループが誕生した歩みを振り返るとともに、今後の異業種交流のさらなる発展へ機運を高めます。無料(交流会は4,000円)。

☐2月14日(木)13時30分～15時50分、交流会16時10分～18時

☐ラッセホール(神戸市中央区)

☐100人(先着)

☐申込センター異業種連携相談室

☎078-977-9073 ☎078-977-9112

✉igyo@staff.hyogo-iic.ne.jp

1月15日(木)までに所定の申込用紙(ダウンロード可)をEメール(添付ファイル)またはファクスで送信してください



### 「ひょうご産業SDGs認証事業」 認証企業募集

ひょうご産業SDGs推進宣言事業の宣言企業が対象。県が宣言事業のSDGsの取り組みを評価・認証することで、さらなる内容の深化を促します。

☐同推進宣言事業の宣言企業 ※その他要件あり

●認証企業の主なメリット

- ・認証書が交付されます
- ・中小企業融資制度の「SDGs支援貸付」を利用できます

## INPIT 知財総合支援窓口

INPIT(インピット)は、特許庁と連携しながら企業における知的財産活用を支援する公的機関です。



日本の中小企業経営を支えたい

あなたの会社にも他者に負けない「何か」があるはず。その「何か」を意識してみませんか？

知財の面から、知財総合支援窓口がサポートします！

- ・ 技術・商品名・デザインの権利化
- ・ 共同開発や販売の契約書
- ・ 権利侵害の対応
- ・ 海外での権利化

無料相談お問合せ

INPIT兵庫県知財総合支援窓口

兵庫県発明協会 078-731-5847

スタートアップの経営者必見

YouTubeチャンネルの登録をお願いします



・社債発行の際に保証料率が割引されます など

●認証期間＝3年間 ※年1回の進捗報告が必要

申問当センター成長支援課 ☎078-977-9117

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-8-4

1月15日㊤(消印有効)までに所定の申請書等(ダウンロード可)を郵送(レターパック)または持参してください



### メールマガジン 登録受け付け中

セミナーや各種行政情報などを無料配信します。

☑e-mlhedDB@xpressmail.jpまたは二次元コード宛に空メールを送信→30分以内に届く登録用メールに記載のURLをクリックし必要事項を入力

☎企画管理課 ☎078-977-9070



### 関係機関

#### 明石市産業振興財団 「人材定着セミナー」

離職防止の方策の一つとして、ワーク・ライフ・バランスの視

点から心理的安全性の高い職場づくりに向けた取り組みを考えます。無料。

☑2月8日㊤14時～16時

☑明石商工会議所

☑20人(先着)

申問明石市産業振興財団 ☎078-918-0331

2月1日㊤までにホームページの申し込みフォームから



# 文具の富士商会

神戸市中央区琴ノ緒町4丁目1-281

TEL.(221)7178代表 FAX.(221)6974

## サブスクリプション型生産性向上支援訓練 のご案内

生産性向上人材育成支援センターでは、eラーニング形式により複数の訓練を定額で受講できる「サブスクリプション型生産性向上支援訓練」を令和5年度から実施しております。

●下記コースを繰り返し受講可能です サンプル動画はこちら↓

#### 業務効率向上のための時間管理

タイムマネジメント手法やタスク管理の方法など、業務の効率化・スピード化のための知識を習得します。



#### 成果を上げる業務改善

業務上の問題点の可視化や、改善に向けた具体的な進め方など、業務改善の視点と方法を習得します。



#### 職場のリーダーに求められる統率力の向上

組織の管理機能や職位に応じた統率力など、職場のチームワークをけん引できる能力を習得します。



#### ●実施形式

動画視聴による  
eラーニング形式

#### ●訓練時間

12時間以上  
(各コース4時間以上)

#### ●訓練期間

センターが指定する2か月間

#### ●受講料《定額制》

920円(税込)

#### ●実施機関

株式会社インソース



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構兵庫支部

ポリテクセンター兵庫 生産性向上人材育成支援センター

〒661-0045 兵庫県尼崎市武庫豊町3-1-50

TEL: 06-6431-8205 (生産性センター業務課) E-mail: hyogo-seisan@jeed.go.jp



兵庫生産性センターHP



# がんばる企業を応援

「中小企業支援ネットひょうご」構成機関からのご案内

## 「中小企業支援ネットひょうご」とは

さまざまな経営課題を抱える中小企業の応援を目的に、中小企業支援機関や連携団体でつくるネットワークです。各機関の強みを生かしながら、総合的な支援を展開しています。

## 勤労者福祉を新たなステージへ (公財)兵庫県勤労福祉協会

兵庫県勤労福祉協会は、勤労者とその家族の健康や福祉の増進、企業の労働生産性の向上に貢献することを目的に1964年に設立されました。近年は、福利厚生制度「ひょうごファミリーパック」の充実と、「ひょうご仕事と生活センター」による仕事と生活のバランス(WLB)の推進に力を入れています。

### ひょうごファミリーパック

中小企業向けの「地域密着型」福利厚生制度として、1社単独では実施困難な大企業並みの福利厚生を提供しています。

#### 福利厚生

宿泊・レジャー施設や飲食店等の提携店での会員割引や利用補助をはじめ、暮らしに役立つ多彩なサービスを提供します。



#### 給付

結婚や入学等の祝い金、見舞金・弔慰金、勤続報奨金、退職金など、会員とその家族のライフステージに応じた12種類の給付金を支給します。

#### 融資

県内に本・支店を置く14の指定金融機関と連携し、急な生活費や自動車購入費、住宅資金等に利用しやすい低利融資を斡旋します。

#### 健康管理

会員と配偶者を対象にインフルエンザの予防接種、人間ドックまたは脳ドックの補助を実施します。

**会費** 勤労者1人につき2カ月ごとに1,000円

※事業所が負担した場合、税法上損金または必要経費扱いになるので節税対策にもなります

### ひょうご仕事と生活センター

「仕事と生活の調和」の取り組みを全県的に推進する拠点として、県内企業・団体のWLBの実現を目指し、さまざまな支援を全て無料で実施しています。



オリジナルキャラクター「WLB7」のペンギン「はぐベン」

#### ワンストップ相談

WLBに関する相談や質問を面談、電話、メールで受け付けています。

#### コーディネーター等によるサポート

コーディネーターやコンサルタントが企業を訪問し、最適なサポートを実施。例えば、外部専門家を講師に招いてWLB推進に関する社内研修を開催します。

#### テレワーク・ICT相談

テレワークシステムの構築など、働き方改革の一環としてICT活用の相談に応じます。

#### 合同企業説明会・企業魅力発信フェア

兵庫県と共催で就活生向けに、WLB表彰企業が参加する「合同企業説明会」や「企業魅力発信フェア」を開催しています。

#### WLB推進の助成金

次の助成制度を設けています。詳しくはホームページをご覧ください。

- 育児・介護代替要員確保支援助成金
- 環境整備支援助成金
- テレワーク導入支援助成金

(公財)兵庫県勤労福祉協会

神戸市中央区下山手通6-3-28 兵庫県中央労働センター1階

☎078-341-1510 🌐<https://kinrou-hyogo.jp>



ファミリーパック



仕事と生活センター



## 成長期待企業の イキオシ!

### 成長期待企業とは

中小企業支援ネットひょうごでは、さらなる成長が見込める企業を「成長期待企業」に選定し、複合的な支援をしています。このコーナーでは選定企業が誇る自慢の商品やサービスを紹介します。



マットの取り換え作業

五代産業(株)の

# 事業展開力

## レンタルマットを入りに 多彩なサービスを提案

井野貴人社長の父、寛さんがレンタルマット事業で創業したのは1985年のこと。メーカーから直接仕入れ、全て直営でレンタルすることで料金を抑え、阪神間を中心に着実に取引先を増やしていきました。

「レンタルマットを取り換える頻度は2週間に1回。1年で26回訪問します。おのずと顔なじみになり、頼られることが増えていきました」と井野社長。その後、清掃サービスやAED設置など事業を広げていきます。尼崎市内の大手製造メーカーからは、レンタルマットや各種清掃作業だけでなく、社内売店を運営していた子会社の清算に伴い、その



運営を受託している社内居酒屋

運営を引き継ぎました。さらに昨年9月からは社内居酒屋の運営も任されています。

レンタルマットの取り換えで訪問する際はアルコール除菌剤などの販売も併せて行うことで顧客との接点を増やしています。また、インスタグラムにビジネスへの思いを写真と共に載せたことがきっかけで、遠く関東の会社からもレンタルマットを受託するようになりました。

5代続くようにと創業者である父が名付けた社名。「これからは時代やお客さまの変化に合わせながら、地に足を着けて事業を展開していきたい」と先を見据えています。

五代産業(株) 尼崎市武庫川町1-5  
☎06-6430-0155 🌐<https://www.godai-industry.co.jp>

- 設立年:1985年 ●代表取締役:井野貴人
- 事業内容:レンタルマット、清掃業など

「安心」への  
お手伝い

## 災害時発動型予約保証 「そなえ」のご案内



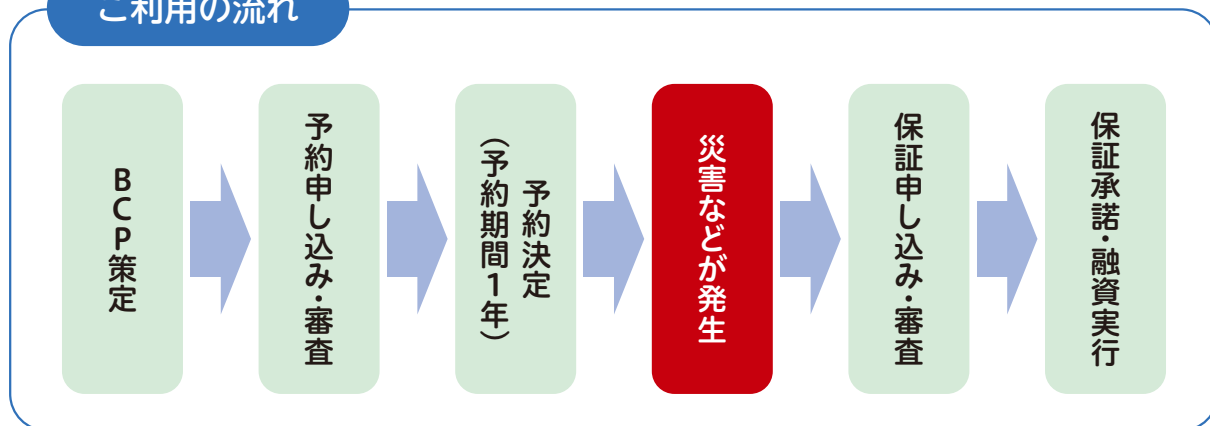
災害時発動型予約保証「そなえ」は災害に対する事前の備えとして、保証の予約を行い、災害が発生した場合は予約に基づく迅速な資金調達を可能とする保証です。

### ●災害時発動型予約保証「そなえ」の概要

対 象	当協会の保証対象要件に該当し、①～③のいずれかのBCP(事業継続計画)を策定している中小企業・小規模事業者 ①中小企業庁が公開している「中小企業BCP策定運用指針」のうち、入門コースを除いた基本・中級・上級コースのいずれかに準じたBCP ②兵庫県中小企業団体中央会が策定を支援し、推薦するBCP ③「国土強靱化貢献団体の認証に関するガイドライン」(内閣官房)に基づく「国土強靱化貢献団体の認証(レジリエンス認証)」を取得したBCP
資 金 使 途	災害発生後における事業継続等のために必要な運転資金および設備資金
予 約 限 度 額	2億8,000万円(組合の場合は4億8,000万円) 注1)BCP(事業継続計画)に基づく金額とします 注2)本申込時には利用できる保証の空き枠の範囲内となります
予 約 期 間	予約決定日から1年間 注)予約を更新する場合は再度予約申し込みが必要となります
信 用 保 証 料	事前予約時: <b>保証料は不要</b> 本申込時:利用する保証に応じた保証料率を適用(0.45～2.20%)
予 約 方 法	金融機関経由または当協会への直接申し込み 注1)当協会への直接申し込みは「対象」の②に限ります 注2)予約時には専用の申込書とBCP(事業継続計画)等が必要です

※上記は概要です。詳細については各事務所・支所へお問い合わせください

### ご利用の流れ





税理士が教える経営に役立つ税制情報／

TAX & LAW



TKC近畿兵庫会姫路支部

広報委員 世良真一

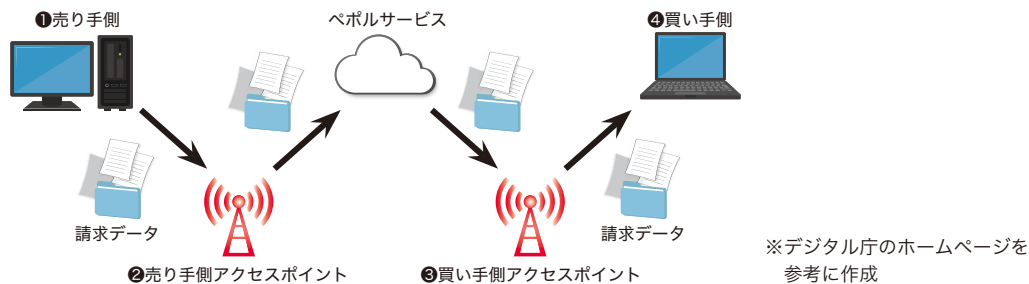
## これから増える？「Peppolをベースとした電子インボイス」とは

インボイス制度の開始後、PDFをはじめとする「電子インボイス」を受け取っている会社も多いことでしょう。電子インボイスの一種で、世界各国はもちろん、日本でも現在導入が進んでいる「Peppol（ペポル）をベースとした電子インボイス」について解説します。

### 世界規模で採用が進み日本も2021年に導入

「Peppol」とは、受注や請求に係る電子文書をネットワーク上でやり取りするための国際標準規格です。ベルギーにある国際的な非営利組織「OpenPeppol」が管理しており、現在はEUをはじめ、シンガポールやオーストラリア、ニュージーランドなど30カ国以上で採用されています。

日本では、2021年9月にデジタル庁がOpenPeppolのメンバーとなり、国内におけるペポルの管理局「Japan Peppol Authority」として、ペポルネットワークでやり取りできる電子インボイスの標準仕様を策定・管理しています。



### 異なるシステム間での電子データのやり取りが簡単に

Peppolをベースとした電子インボイスの特徴のうち、PDFや専用のEDI（電子データ交換）システム等の一般的な電子インボイスと大きく異なる点は次の通りです。

- 送信／受信側が同じシステムを利用していなくても、データのやり取りが可能であること
- 受信側のシステムが発行者名や品名、取引金額等のインボイスの記載事項とその内容を正確に読み込めるので、請求書の確認や仕訳入力が楽になること

専用のEDIシステムを導入する企業も増えてきましたが、請求書を受け取る側の企業からは「操作方法が分かりにくい」「企業によって扱うシステムが異なるため、請求書処理のたびに複数のシステムを起動してかえって手間が増えた」といった声も聞かれます。Peppolをベースとした電子インボイスの利用によって、このようなインボイスの発行・確認に係る作業やコストを大幅に削減することにつながります。

参考文献：「事務所通信2024年1月号」（TKC出版）



# 豊かな地域・緑をはぐくむ 〈あましん〉です



<https://www.amashin.co.jp>



〈あましん〉のSNS

Facebook



Instagram



YouTube

